



# 【自立自走の村づくり】

黒木 定藏（西米良村）（74歳）

## 1 概要

平成10年4月に西米良村長に就任。6期24年の長きにわたり自立自走の村づくりを目指し、全国初の「ワーキングホリデー」をはじめ、交流人口の創出や観光振興に尽力。村民の幸福度を高めるため、西米良村の認知度向上や地域の活性化に多大な貢献をした。



黒木 定藏 氏



おがわ作小屋村

## 2 活動に対する評価

### ○先進性・独自性

都市と山村の交流を促す取組として、国内初の「西米良型ワーキングホリデー」を開始したほか、「平成の桃源郷・おがわ作小屋村づくり」に代表される住民が主体となった新たな山村集落づくりは、地域活性化施策のモデルとなっている。

### ○継続性

村長就任後、観光振興のために「西米良温泉ゆた〜と」、「川の駅 百菜屋」等を整備するとともに、四季折々のイベントを打ち出すなど、観光や交流を軸とした村づくりを推進し、現在でも村の中核を担う取組として続いている。

### ○発展性

村づくりを担う人材育成を目的とした若者のヨーロッパ視察「明日への翼事業」や、高齢者を対象にした「平成の江戸見物事業」を実施。外の世界を見聞し、村の良さを再認識してもらうことにより、村民の幸福度を高め、新たな村づくりへの意欲向上にも繋がっている。

### ○自主性

村長退任後も、西米良温泉の清掃ボランティアグループ「朝風呂会」に参加されるなど、自らも地域づくり活動に取り組み続けている。

### ○協働性・連携性

村長としてのリーダーシップのもと、「村民総参加」を基本姿勢としながら、住民や地域と一体となって各種施策に取り組み、村民の協働や連帯感の向上に繋がっている。

### ○効果

上記の様々な活動により、村の知名度の向上、交流人口の増加、人口減少の抑制等の成果を生んでおり、西米良村のみでなく本県をはじめ全国の中山間地域振興におけるモデルとなり、地域の活性化に貢献した。

## 3 その他

- ・平成15年 観光庁の「観光カリスマ」に選定
- ・平成25年「おがわ作小屋村運営協議会」が国交省の「地域づくり表彰」で最高賞を受賞
- ・令和 4年 西米良村の最高顕彰「菊池賞」を受賞
- ・令和 4年 宮崎県観光協会「観光功労者表彰」を受賞



